

# 【聽譯】シンデレ ラアバター



シンデレラアバターは駆け引きが上手  
然り気なく君にガラスの靴を捧げます

仙杜瑞拉的身份適合臨機應變  
若無其事地向你送去水晶鞋

理想的女性像で君を誑かすの  
「猫かぶり」さえ可愛らしい魔性で  
磨かれた名演技に酔い痴れなさい  
灰かぶった少女なんていなかったの

用理想的女性形象誘惑你  
甚至扮作貓咪那麼可愛又魔性  
快痴醉於我磨練已久的演技下吧  
蓬頭垢面的灰姑娘根本不存在

シンデレラアバターは魔法の産物  
お伽噺では刺激不足 大人の味  
シンデレラアバターは我儘にさせる  
迎えに来てよ 唇が乾かないうちに

仙杜瑞拉的身份是魔法的產物  
童話故事不夠刺激 成人的味道  
憑藉仙杜瑞拉的身份讓我爲所欲爲  
快來迎接我吧 趁脣印未乾

お姫様 召使い なんでも演じれそう

公主 侍從 感覺什麼都能演

臆病な本性さえ隠せるなら  
これほどに私を狡賢くさせる  
君の魅力こそが罪 気付  
いてるの？

只要能藏起我膽小的本性  
讓我變得如此狡詐  
全是你的魅力的罪過 沒  
注意到麼？

シンデレラアバターは魔法の産物  
お伽噺では刺激不足 大人の味  
シンデレラアバターは我  
儘にさせる  
迎えに来てよ 唇が乾か  
ないうちに

仙杜瑞拉的身份是魔法的  
產物  
童話故事不夠刺激 成人  
的味道  
憑藉仙杜瑞拉的身份讓我  
爲所欲爲  
快來迎接我吧 趁脣印未  
乾

シンデレラアバターは駆け引きが上手  
然り気なく君にガラスの  
靴を捧げます

仙杜瑞拉的身份適合臨機  
應變  
若無其事地向你送去水晶  
鞋

シンデレラアバターは魔法の産物  
お伽噺では刺激不足 大人の味

仙杜瑞拉的身份是魔法的  
產物  
童話故事不夠刺激 成人  
的味道

シンデレラアバターは我  
儘にさせる  
迎えに来てよ 唇が乾か  
ないうちに

憑藉仙杜瑞拉的身份讓我  
爲所欲爲  
快來迎接我吧 趁脣印未  
乾

---

お伽噺では刺激不足  
シンデレラアバターは  
迎えに来てよ 唇が乾か  
ないうちに

童話故事不夠刺激  
仙杜瑞拉的身份  
快來迎接我吧 趁脣印未  
乾

---

お伽噺より刺激的な愛を  
頂戴

快給我比童話故事更刺激  
的愛吧

---

童話《灰姑娘》在日語通常是音譯爲仙杜瑞拉（シンデレラ），而這篇歌詞中，仙杜瑞拉的身份是說灰姑娘由魔法變身後的身份，與灰姑娘本身的身份（灰<sup>はい</sup>かぶった<sup>しょうじょ</sup>少女）相對。

照例，左側註音，右側釋意。

---

シンデレラアバターは<sup>か</sup>駆  
<sup>ひ</sup>け引<sup>しょうず</sup>きが上手

シンデレラアバター：  
cinderella avatar。<sup>か</sup>駆<sup>ひ</sup>け引<sup>ひ</sup>き：在戰場等場合的臨  
機應變。

然<sup>さ</sup>り 氣<sup>げ</sup> なく 君<sup>きみ</sup> に ガラス  
の 靴<sup>くつ</sup> を 捧<sup>ささ</sup> げ ます

然<sup>さ</sup>り 氣<sup>げ</sup> なく：若無其事，  
裝作是不經意間。

理<sup>り</sup> 想<sup>そう</sup> 的<sup>てき</sup> 女<sup>じょ</sup> 性<sup>せい</sup> 像<sup>ぞう</sup> で 君<sup>きみ</sup> を 誑<sup>たぶら</sup>  
かすの

誑<sup>たぶら</sup> かす：欺騙、誘惑、勾  
引。

「猫<sup>ねこ</sup> かぶり」さえ 可<sup>かわい</sup> 愛<sup>あい</sup> ら  
しい 魔<sup>ま</sup> 性<sup>しょう</sup> で

「猫<sup>ねこ</sup> かぶり」：更常見的  
是引申義，表示裝作老  
實、乖巧。這裏本意裝作  
貓的樣子。

磨<sup>みが</sup> かれた 名<sup>めい</sup> 演<sup>えん</sup> 技<sup>ぎ</sup> に 酔<sup>よ</sup> い  
痴<sup>し</sup> れ ない

灰<sup>はい</sup> かぶった 少<sup>しょう</sup> 女<sup>じょ</sup> なん て い  
な かった の

シンデレラアバターは 魔<sup>ま</sup> 法<sup>ほう</sup> の 産<sup>さん</sup> 物<sup>ぶつ</sup>

お 伽<sup>とぎ</sup> 噺<sup>ばなし</sup> では 刺<sup>し</sup> 激<sup>げき</sup> 不<sup>ぶ</sup> 足<sup>そく</sup> 大<sup>お</sup> 人<sup>とな</sup> の 味<sup>あじ</sup>

シンデレラアバターは 我<sup>わが</sup> 儘<sup>まま</sup> に さ せ る

迎<sup>むか</sup> え に 来<sup>き</sup> て よ 唇<sup>くちびる</sup> が 乾<sup>かわ</sup> か ない う ち に

お 姫<sup>ひめ</sup> 様<sup>さま</sup> 召<sup>め</sup> 使<sup>しつか</sup> い なん だ も 演<sup>えん</sup> じ れ そ う

臆<sup>おく</sup> 病<sup>びょう</sup> な 本<sup>ほん</sup> 性<sup>しょう</sup> さ え 隠<sup>かく</sup> せ る な ら

わたし ずるがしこ  
これほどに私 を 狡猾 くさせる  
きみ みりよく つみ き づ  
君 の 魅力 こそが 罪 気 付 いてるの？

---

まほう さんぶつ  
シンデレラアバターは 魔法 の 産物  
とぎばなし しげき ぶそく おとな あじ  
お 伽 嚟 では 刺激 不足 大人 の 味  
わがまま  
シンデレラアバターは 我 儘 にさせる  
むか き くちびる かわ  
迎 えに 来 てよ 唇 が 乾 かないうちに

---

か ひ じょうず  
シンデレラアバターは 駆 け 引 きが 上手  
さ げ きみ くつ ささ  
然 り 気 なく 君 に ガラス の 靴 を 捧 げます

---

まほう さんぶつ  
シンデレラアバターは 魔法 の 産物  
とぎばなし しげき ぶそく おとな あじ  
お 伽 嚟 では 刺激 不足 大人 の 味  
わがまま  
シンデレラアバターは 我 儘 にさせる  
むか き くちびる かわ  
迎 えに 来 てよ 唇 が 乾 かないうちに

---

とぎばなし しげき ぶそく  
お 伽 嚟 では 刺激 不足  
シンデレラアバターは  
むか き くちびる かわ  
迎 えに 来 てよ 唇 が 乾 かないうちに

---

ときばなし しげきてき あい ちょうだい  
お 伽嚟 より 刺激的 な 愛 を 頂戴